



デジタルシネマ機器の導入について

TOHOシネマズ株式会社
代表取締役社長 中川敬

弊社は今般、大ヒット作が続く3D(立体映像)作品の増加や、今後の映画興行のオールデジタル化への対応のため、ソニー株式会社の「デジタルシネマ・ソリューションサービス」を採用することを決定いたしました。

このソニーのサービスは映画館のデジタル化を包括的に支援するもので具体的には、デジタル上映システム(デジタルシネマプロジェクター、上映サーバー)及びこれをネットワーク化し上映オペレーション・コンテンツを一元管理するシアターマネジメントシステム(TMS)とセンターサーバーシステムを提供するものです。

さらに専用の保守メンテナンスサービス(コールセンター、機器/システムのリモートモニタリング、定期保守等)も提供されます。

TOHOシネマズは、これまで自己所有する形でデジタル上映システムを導入してまいりましたが、このサービスを利用することで、さらに迅速に低コストでシネコンのデジタル化を実現できることとなります。

[導入日程]

- ・現在108スクリーンにデジタル上映システムを導入済み。
- ・2010年内に更に約150スクリーンにデジタル上映システムを導入予定。
同時に60台の3D機器を増設し全部で157のスクリーン(全体の約30%)で3D作品に対応できる予定です。
(注:3D機器はこのサービスには含まれません。)
- ・2011年12月までに全545スクリーンへのデジタル上映システム設置完了を目指します。
(一部共同経営館を除く。)

[問い合わせ先]

TOHOシネマズ(株) 東京都千代田区有楽町1-2-2 東宝日比谷ビル5F

担当:技術推進部長 塚本/取締役 営業本部長 服部

電話番号 03-5512-1234

ホームページ <http://www.tohotheater.jp/>